

## 夏の“太田東西自慢話”



早いもので、もう8月ですね。  
今月号は、今年上半期の自慢話をさせてください！(笑)

まずは新緑の5月。  
お客様の結婚式に夫婦で招待されました。

乾杯のあいさつを頼まれて、写真はその時の模様です。  
水戸黄門で乾杯のあいさつ？

「人生楽ありゃ、苦もあるさ～ 自分の道を踏みしめて～ かんぱ～～い！！」

しっかり会場を盛り上げました～ \ (^ 0 ^ ) /

水戸黄門に変装して乾杯の発声をした、それが自慢話なのではなく・・・

お客様の結婚式に招待されるのは嬉しいことではありますが、  
これまで私なりの悩みを抱えて出席しておりました。

それは・・・  
気軽に正体を明かせないということです。

「どんなご関係ですか？」

「はい、新婦さんがひどい生理痛と頭痛持ちで、それで漢方相談にみえられて  
漢方で治してさしあげたんですよ」  
なんて、ベラベラ話せませんよ(笑)

「はい、ご家族の知人でして」なんて、濁していました。  
基本、めでたい席で新郎新婦の「病気」の話はですね・・・  
もう、すっかり治ったとしても。変に詮索する人もいますから。

しかし今回の披露宴は、打って変わって、私の正体が公の場に！  
なんと、ビデオレターなるもので、新婦さんの辛かった過去の病気のことが  
披露宴会場で放映されたのですが、その時、

「どん底だった自分の心身を支えてくださって、太田先生、ほんとうに  
ありがとうございました」

みたいな内容のテロップが流れたんですよ！  
いや、これ見た時には思わず感激して、涙腺がゆるみました・・・(><)

**『病気は不幸なことではなく、自分を見つめ直し、人生の方向転換を促す  
有難い出来事である』**

このことに気づき、これに確信を持ってお客様にお伝えしていますが  
それはホーム（太田東西薬局内）での話。

今回、アウェーの地で「病気したからこそ、太田先生との出会いがあり、  
心身ともに強くなって、良縁に恵まれたと思っています」という文言には  
もう、最高の気分になりました。

もちろんビール、ゴクゴクいきましたよ～～(笑)

続いて・・・

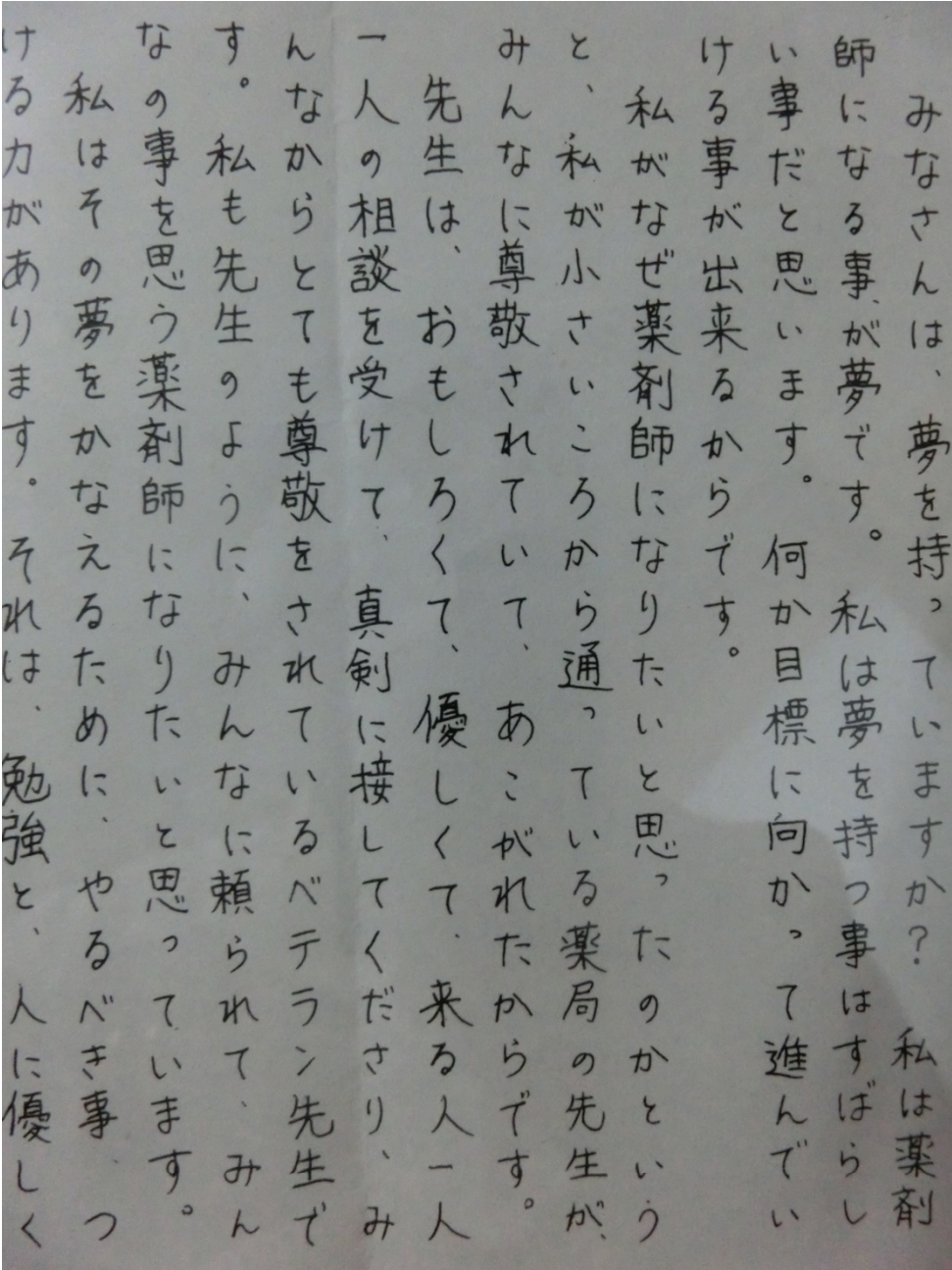
これも、チヨ～うれしかったなあ～～(><)

それは3月下旬。

4月から中学1年生になるお孫さんを持つお客様が

「先生、これ見てください。孫の小学校の卒業文集です」

持参されたそのコピーを拝見しますと・・・



みなさんは、夢を持っていきますか？ 私は薬剤師になる事が夢です。私は夢を持つ事はすばらしい事だと思っています。何か目標に向かって進んでいける事が出来るからです。

私がなぜ薬剤師になりたいと思ったのかというと、私が小さいころから通っている薬局の先生がみんなに尊敬されていて、あこがれたからです。

先生は、おもしろくて、優しく、来る人一人一人の相談を受けて、真剣に接してください、みんなからとても尊敬をされているベテラン先生です。私も先生のように、みんなに頼られて、みんなの事を思う薬剤師になりたいと思っています。

私はその夢をかなえるために、やるべき事、つめる力があります。それは、勉強と、人に優しく

薬剤師になって25年余り。

「ほんとうに薬剤師になってよかった！この道でよかった！！」

そう自分をしっかり肯定できた瞬間でした（泣）

Nちゃんをはじめて薬局に来たのは小学2年生の時。

持病があるわけではなく、夏休み冬休み春休み、お母さんときょうだいと一緒に来ていました。

「身体と心の健康のためには何が必要なのか？」

血流データの説明をお母さんの横で聞いて、何かを感じ取っていたんですね。

笑いがある中でも、ある時は大人たちが真剣に話し合っている。家族の悩みに漢方の先生がアドバイスしている。

そういう姿を、ずっと隣で見えていたのしょうね・・・（><）

誰に言われたわけでもなく、自分の中から

「将来は薬剤師になりたい！」という

夢がわいてきた。

学んだというよりも、感じ取った。

もう、ホント

仕事冥利に尽きます。

その文集は待合室入口に掲示しています。

東洋医学の名医よりも、私の宝物です！（笑）



ちょうど先月、夏休みに入って

Nちゃんが来てくれました。

「やっぱり薬剤師なんか、や～めた！

なんて思ってないよね？」って訊いたら

「思っていない！」

力強い返事をもらいました～～



以上、太田東西自慢話2つでございました！ m(uu)m